

第五九回秋田県消防操法大会



題 字
初代会長 松野 盛吉
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 高橋 正尚
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

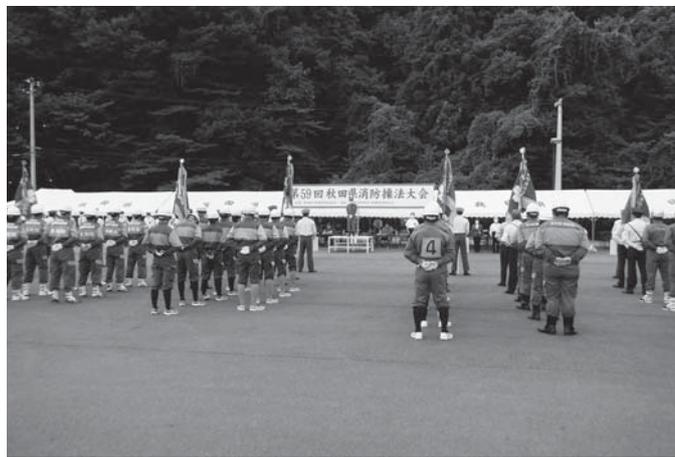
印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

第五九回秋田県消防操法大会は八月二〇日(土)、秋田県消防学校放水訓練場(由利本荘市岩城)において行われました。新型コロナウイルスの影響で二年続けて中止されていたので、三年ぶりの開催となりました。

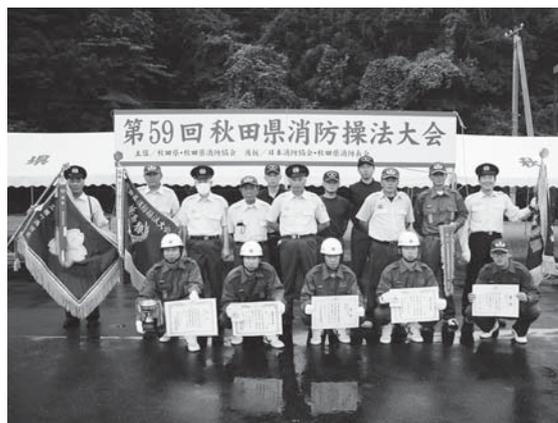
開会式では、前回大会の優勝団から優勝旗が返還された後、神部秀行秋田県副知事、高橋正尚秋田県消防協会長による主催者あいさつ、渡辺明秋田県消防学校長から審査長指示があり、能代市消防団 幸坂剛副団長が選手宣誓を行いました。

県内九支部の予選を勝ち抜いた小型ポンプ操法の部に九分団、ポンプ車操法の部に七分団が出場し、日ごろの訓練の成果を競いました。

その結果、小型ポンプ操法の部では、三種町消防団第五分団が優勝、ポンプ車操法の部では、能代市消防団第一二分団が優勝に輝きました。競技結果は、別記のとおりです。



能代市消防団第12分団



三種町消防団第5分団

二〇三年度全国統一防火標語

お出かけは マスク戸締り 火の用心

第59回秋田県消防操法大会成績表

【小型ポンプ操法の部】

順位	出場団名	タイム(秒)	総得点(点)
優勝	三種町消防団第5分団	42.70	93.0
第2位	美郷町消防団第2分団	44.25	90.0
第3位	小坂町消防団第4分団	44.05	89.5
優秀賞	東成瀬村消防団第3分団	44.76	86.5
	横手市消防団十文字支団第3分団	44.27	85.5
	秋田市消防団飯島分団	44.88	85.5
	大館市消防団第13分団	44.30	84.5
	由利本荘市消防団東由利分団	46.99	80.0
	井川町消防団第2分団	47.44	79.5

【ポンプ車操法の部】

順位	出場団名	タイム(秒)		総得点(点)
		第1線	第2線	
優勝	能代市消防団能代第12分団	54.99	64.88	180.5
第2位	鹿角市消防団第5分団	59.35	63.89	173.0
第3位	大館市消防団第10分団	58.31	68.94	171.5
優秀賞	由利本荘市消防団島海分団	56.36	72.82	164.5
	大瀧村消防団第3分団	56.04	69.64	162.0
	横手市消防団十文字支団第4分団	65.27	72.68	153.5
	秋田市消防団保戸野分団	72.22	71.66	150.0

【優秀選手賞】

区分	小型ポンプ操法		ポンプ車操法	
	出場団名	氏名	出場団名	氏名
指揮者	小坂町消防団第4分団	亀田 憲人	秋田市消防団保戸野分団	佐藤 聖仁
1番員	三種町消防団第5分団	田村 悠人	秋田市消防団保戸野分団	竹越 満
2番員	秋田市消防団飯島分団	新沼 光拓	能代市消防団能代第12分団	齊藤 穂高
3番員	三種町消防団第5分団	新堀 慎	大館市消防団第10分団	金光寺弘樹
4番員			大館市消防団第10分団	横瀨 孝彦

競技審査の講評

◎大会審査班長

秋田県消防学校 齋藤 広幸

■総 合

三年ぶりの開催となった今年度は、小型ポンプ操法の部とポンプ車操法の部が行われました。操法要領の大幅な改正があり、訓練開始当初は戸惑った部分があったと思いますが、今年度は小型ポンプ操法の部の

全国大会が行われることもあり、選手の士気が非常に高く、白熱した競技になりました。

全体的には、規律、節度、タイム等、日ごろの訓練の成果が発揮されたものと感じました。

今後の課題として、ホースラインの蛇行、規定外圧力送水、基本動作に留意して訓練に励んでもらいたいと思います。

■小型ポンプ操法の部

例年よりもタイムが若干遅くなつ

ています。悪天候ということもありましたが、ホースラインの蛇行、基本操作がポイントになったと感じます。

秋田県代表となった三種町消防団の全国大会での健闘をお祈りします。

■ポンプ車操法の部

ホースの展張、延長動作が雑な隊が若干あり、また、ホースの担ぎ方、注水補助姿勢が不安定な隊や規定外圧力送水が複数隊ありました。基本動作の確認、徹底をお願いします。



横手市消防団十文字支団第3分団



秋田市消防団飯島分団



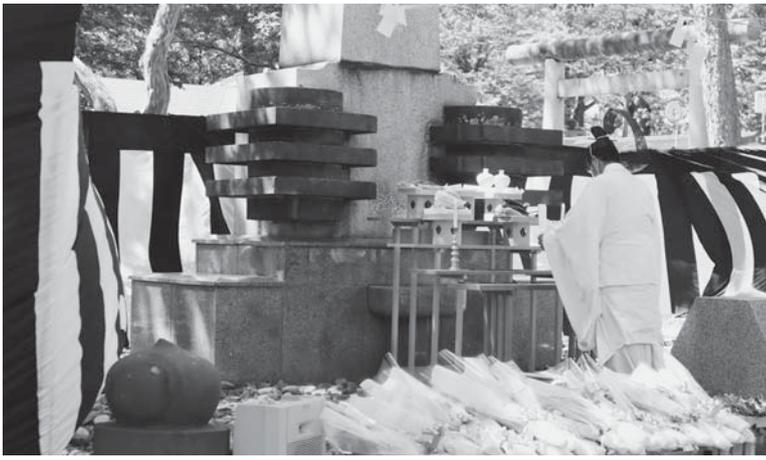
大館市消防団第10分団

災害の防止と消防活動の安全を誓う

令和四年度殉職消防職・団員慰霊祭

令和四年度(第九五回)殉職消防職・団員慰霊祭が、九月六日(火)秋田市千秋公園本丸の「殉職消防組員招魂碑」前で、秋田県消防協会が祭主となり行われました。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策を考慮し、遺族は県内在住者に限りご案内したほか、来賓、消防協会役員など四四名が参列しました。



神事後、高橋正尚 秋田県消防協会長が、「ここに合祀さ

れている四七柱の御霊が不屈の消防魂で職責を全うされたその崇高な精神は、県内消防人の鑑であり、我々消防人は御霊のご遺訓を胸に、一致団結して地域住民の安全・安心のため最善を尽くすことを誓います。」と祭主祭文を奏上しました。

来賓を代表して神部秀行 秋田県副知事が、「四七名の皆様は、県民の生命、財産を守るといふ崇高な使命のもと、毅然として災害現場に赴き、自らの危険も顧みず消防防災活動や救助活動に当たられ、尊くもその職に殉じられた方々であります。

志半ばで殉職された無念や、突然にして最愛のご家族を失われたご遺族の皆様の深い悲しみをお察しいたしますと、悲痛の思いが胸に迫るものを禁じ得ず、改めて四七名の皆様



のご冥福をお祈りいたします。」と慰霊の言葉を述べました。
続いて、玉串奉奠が行われ、高橋会長、遺族を代表して藤田美那子様、藤田敦子様(能代市)、来賓の方々が御霊の冥福を祈りました。



神部秀行 秋田県副知事



藤田美那子様 藤田敦子様



秋田県消防協会役員



高橋正尚 秋田県消防協会長



柴田正敏 秋田県議会議長

**第七六期初任教育入校生
殉職消防組員招魂碑を清掃**
秋田県消防学校

秋田市千秋公園本丸に建立されている「殉職消防組員招魂碑」の清掃は、毎年、秋田県消防学校初任教育課程の情操教育の一環として行われています。

今年も、九月六日(火)の慰霊祭に先立ち、八月二三日(火)に四七名の入校生によって行われました。

始めに、全員が「招魂碑」に黙とうを捧げた後、碑内の枯れ葉やゴミを除去したり、雑草などを取り除いたほか、碑に付いたコケなどの汚れを洗い流しました。

入校生の皆さん、ありがとうございました。



秋田県総合防災訓練

秋田県総合防災課

八月二八日(日)、秋田市を会場として秋田県総合防災訓練が実施され、県、同市、県警、消防、自衛隊など、三五機関から約三五〇名が参加しました。

訓練は、午前八時、秋田県沖を震源とするM7.8の地震が発生し、同市で震度6強を観測。沿岸部では津波が来襲し、建物被害や人的被害が発生。市内各地でライフラインが寸断され、住家にも被害が発生したという想定で行われました。

「人命救助等の訓練」では、土砂災害発生地点でドローンによる空撮、自衛隊バイク部隊・消防バギーで災害現場外周の検索と情報収集を行いました。空撮した映像は、リアルタイムで市災害対策本部に伝送されました。

「自主防災組織・町内会等の訓練」では、旭北小学校周辺の住民が消防団員の誘導により避難所まで避難を開始し、途中で発見した負傷者に応急手当を行った後、避難所まで搬送しました。

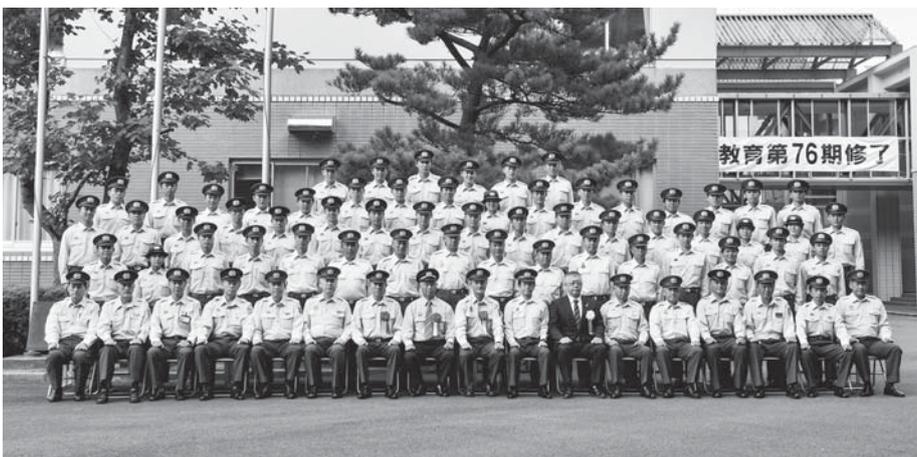
「避難所の訓練」では、日赤救護班が避難所内に救護所を開設したり、妊婦など要援護者やペットを同行した避難者の受け入れ、炊き出しによる応急給食訓練などを行いました。



応急救護所設置訓練



人命検索救助救出訓練



**秋 田 県
消防学校**

初任教育第七六期修了式

四七名修了第一線での活躍を期待

秋田県消防学校第七六期初任教育の修了式が九月一六日(金)、同校の屋内訓練場で、各消防本部消防長など約八〇名が出席して行われました。四七名の修了生は、六ヶ月間の厳しい訓練を乗り越え、明日から、それぞれの所属消防本部に着任し消防士として活動することになります。

修了式は、渡辺明学校長が修了生の代表者に修了証書と成績優秀者に表彰状を授与した後、秋田県知事あいさつ(代読)、来賓祝辞(工藤秋田県消防長会長・高橋秋田県消防協会長)と続き、修了生が答辞を述べ、最後に校歌を演奏して終えました。

表彰状授与

■優 秀 賞 (二名)

秋田市消防本部 浅田 大輝
秋田市消防本部 佐々木 秀

■功 労 賞 (四名)

北秋田市消防本部 石橋 操大
にかほ市消防本部 尾留川士恩
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 中野 敏樹
秋田市消防本部 佐々木 秀

学校長式辞 (要約)



秋田県消防学校
学校長
渡辺 明

皆さんはこの半年間、寝食をともし、夢を語り合い、友情を深め、時にはライバルとして切磋琢磨し、時には仲間として励まし合い、同期としての絆を造りあげました。この絆は、これからの消防人生において、大きな財産となるはずですよ。

皆さんは、明日からそれぞれの所属に戻り、第一線の業務に就きます。これから、多くの厳しく困難な現場が立ちはだかることと思います。しかし、世代を超えて築かれてきた消防精神を胸に、各自の役割を果たし、仲間と一致協力して立ち向かうことにより、必ずや乗り越えることができるでしょう。

各消防本部、そして地域住民の皆様も皆さんの若い力を大いに期待しています。「人を助けたい」という消防を目指した初心を忘れず、信念を貫き、この半年間で成長した自分を信じ、堂々と職責を果たしてください。

これからも事故や健康に留意され、実り多い人生を歩まれ、大いに活躍されることを心から祈念しております。

修了生答辞 (要約)



北秋田市消防本部
消防士
石橋 操大

四七名の仲間と厳しい訓練や座学、トレーニングに励み、雑談をした時間がお互いの絆を深め、一人の社会人、消防職員として成長することができました。

近年、地震や異常気象による大雨、土砂災害など各種災害による悲惨なニュースは後を絶ちません。こうした中で、私たちは地域住民の安心安全を守り、困っている人を助けたいという強い思いと使命感を忘れず、消防業務に尽力して参ります。

この半年間、この消防学校で培ったことを胸に、各地域そして秋田県消防の更なる発展に資することを誓い、答辞といたします。





76期 初任教
半年間を振り返って
秋田県消防学校

北秋田市消防本部 石橋 操大

入校当初、県外から来た身として、期待と不安を抱いていた。また、総代に任命され、失敗を繰り返しながら取り組んでいった。

知り合いも無く孤独だったが、訓練等で失敗した時など周囲が声をかけてくれて、とても感謝している。反省点を多く見つけることができたので、これらを是正しながら市民のため尽力していきたい。

秋田市消防本部 熊谷 里玖

私はこの半年間で消防職員としての心構えや基礎的な技術を身に付けることができました。また、訓練や寮生活の中で仲間と切磋琢磨し、心身共に成長できたと感じています。まだ至らない点もありますが、この経験を糧にこれからの消防人生に臨みたいと思います。

大館市消防本部 菊地 逸平

半年間を振り返ると、様々な知識や活動要領を学んできて、これからは、これからの消防人生の基礎となる部分であり、所属に戻っても勉

強・訓練を継続して市民の生命・財産を守るようにしていきたい。

北秋田市消防本部 千葉 音陽

半年間を振り返って、体力面で足りないところや礼儀など様々なことを学べた期間だった。

今後新たなことに挑戦し学んでいかなければならないので、先輩の方達から聞いたたりして現場でしっかり行動できるように頑張りたい。

由利本荘市消防本部 小林 魁星

半年間の中で一番大切だと感じたのは継続することです。訓練も勉強も繰り返し取り組むことで自分のものになります。

これからの消防生活において、一日一日を継続欲をもって自分を見つめ直し、レベルアップしていきます。

にかほ市消防本部 山田 栞音

この半年間で私は、消防の基礎的なことを多く学ぶことができた。消防人である前に公務員として規律や倫理観を意識し、人として成長することができた。ここでやってきた訓練や礼式は、一生忘れないと思う。

所属に戻っても常に規律と倫理観を持って、地域住民のため、そして自分のために、向上心を絶やさず頑張っていきたい。

横手市消防本部 柴田 健翔

日々の訓練や生活の中で消防職員としての自覚や責任感を養うことができた半年間となった。

まだまだ半人前の消防職員だと感じるが、目の前の仕事に全力で取り組み、一歩ずつ成長していきたい。

五城目町消防本部 京野 温斗

何も知らない状態で入校した四月から半年が過ぎ、訓練の基礎や消防人としてどうあるべきかを学ぶことが出来た。

訓練以外にも仲間達との寮生活や外部講師の講話を糧に、温かい接遇を兼ね備えた消防士を目指していく。

鹿角広域消防本部 吉田ひかり

半年間、消防の知識、技術をたくさん学んできました。慣れないことばかりで大変でした。体力、筋力も消防業務には不足していることを知り、体力づくりに励みましたが、今でも足りないと思うところがあります。

辛い時もありましたが周りの学生のお陰で続けることができました。六ヶ月間学んだことを活かして所属でも頑張っていきたいと思っています。

能代山本広域消防本部 工藤 響

この半年間で消防の知識、技術だけでなく、仲間と協力する大切さ、礼儀などたくさんを学ぶこと

ができました。これからたくさん現場に行き、いろんな経験をしたいと思います。学んだことを生かして一生懸命頑張っていきたいです。

湖東地区消防本部 伊藤 陽翔

振り返れば、長い間であったという間でした。体力的、技術的、精神的に優れた一流の消防士を目指し、現場で活躍するための知識や技術を多く学びました。

そのなかでも消防活動を行う上で、迅速、的確、冷静に活動することの重要さを改めて学びました。

これから所属に戻って活動しますが、その中の同期のトップになれるよう業務に励みます。

男鹿地区消防本部 杉本 千尋

不安と緊張で迎えた日から、本当にあつという間に時間が過ぎました。

座学や訓練での学びが知識として増える喜びを感じると共に、先輩達の働く姿を見ると、このままで大丈夫なのかと不安に思うこともたくさんありました。

でも、礼式や訓練で基礎を、寮生活では協調性など色々なことを学べたので、これ無駄にしないようこれから活かしていきたいと思います。

大曲仙北広域消防本部 安藤 海

私は二一年間で、最も早く、最も



濃い充実した半年間を過ごすことができました。コロナで休校になったこともあり授業時間が短かったですが、放課後に皆で集まり教え合いながら練習したことも思い出です。四六人に出会えたことに感謝し所属に帰ってから頑張っていけます。

湯沢雄勝広域消防本部 池邊龍之介

この半年間は、毎日新たなことを学習する日々で、負けずについていくことに必死でした。授業や厳しい訓練によって、知識、技術、精神力も高まり、日々成長を感じながら過ごすことが出来ました。

所属に戻れば更に厳しいことがあると思いますが、半年間学んだことを生かしながら、頼られる消防職員を目指したいです。



モリタ消防ポンプ
桜ホース・ソフト吸管
各種消火器

シバラポンプ
消防被服一式
消防機器一式

株式会社 **能代消防センター**
株式会社 **協立**

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
猿田興業ビル3F FAX 018 (824) 3651

支部情報アラカルト

女性消防団員の新たな活動

仙北市では、七五歳以上の高齢者のいる世帯を対象に住宅用火災警報器(一個)を無償で設置する取組を実施しており、対象者の申し込みにより、消防団員や市の担当者が訪問し、警報器の設置とともに火災予防指導を行っています。

今年度、女性住民からの要望で、初めて女性消防団員が訪問しましたが、女性のきめ細やかな対応と配



慮を活かすことができたと思っております。

また、八月の豪雨では、避難所開設の際に、市職員と共に女性消防団員が受け入れ対応にあたりました。避難者が高齢の女性であったこともあり、女性消防団員が寄り添うことで、不安なく過ごせたと聞いております。

さらには、今年から山菜採り遭難事故防止キャンペーンに参加するなど、様々なニーズに対応することで女性消防団員の活動の幅を広げていきます。



火災の発生状況(速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	令和4年		令和3年			同期比較	
	9月	累計	9月	累計	年計	9月	累計
建 物	12	121	12	147	186	0	-26
林 野	0	27	2	23	24	- 2	4
車 輛	3	25	3	23	32	0	2
その他	2	79	6	70	78	- 4	9
合 計	17	252	23	263	320	- 6	-11
死者数	1	20	0	19	24	1	1
負傷者数	3	31	1	41	49	2	-10

(情報提供) 大仙仙北美郷支部



災害時にあつては、男性消防団員、女性消防団員それぞれの役割分担が必要と考えており、今後、市民の安全安心を守るための下支えが出来ればと感じています。

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋 田 県 代 理 店

総合防災設備センター

株式会社 高 義 商 会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消 火 器 各 種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 吉

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880
FAX (0182)(32)0839

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | 消防設備保守点検
トーハツポンプ | キンパイホース
各種消防機械器具 | 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp